

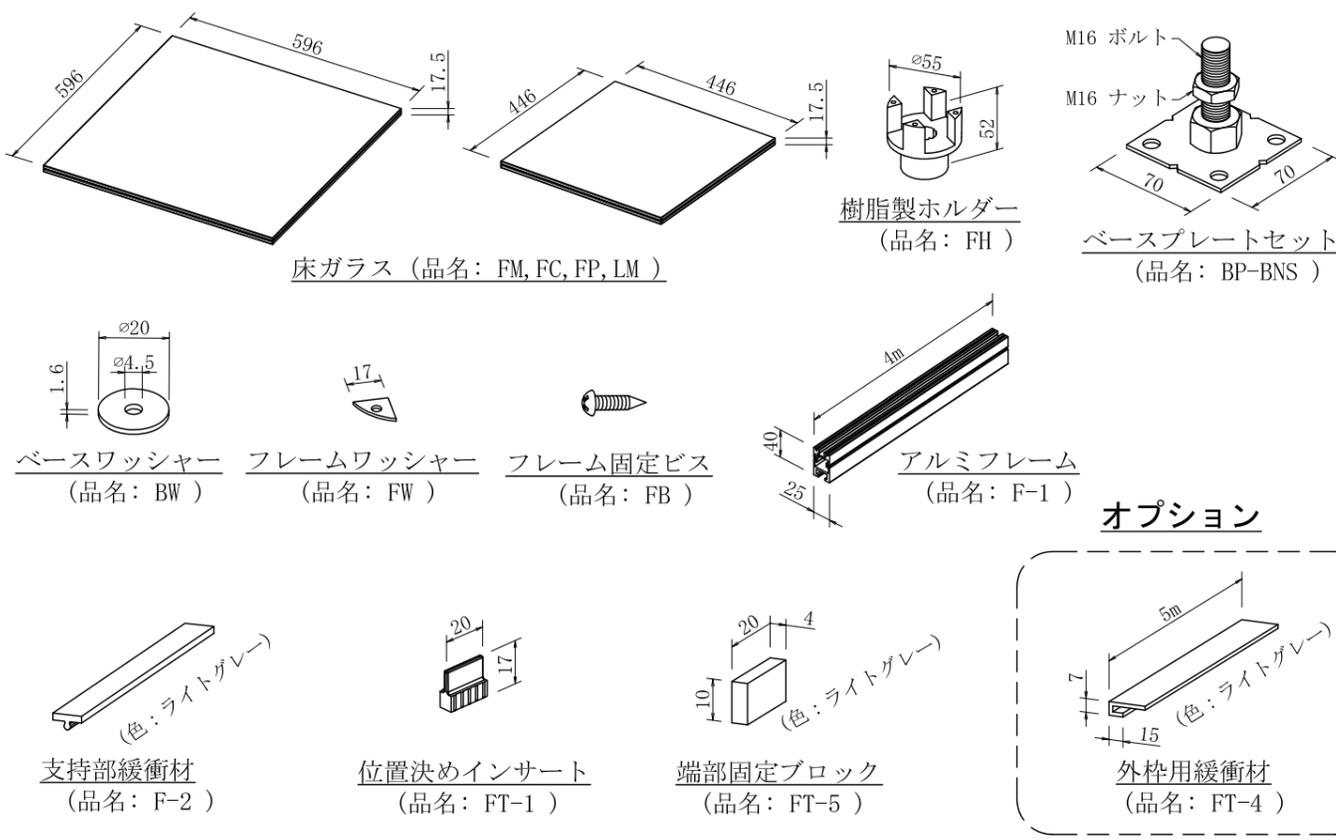
マリム システムキット フレームタイプ標準施工手順書

1 梱包内容の確認

2015/08/26

1-1 梱包内容

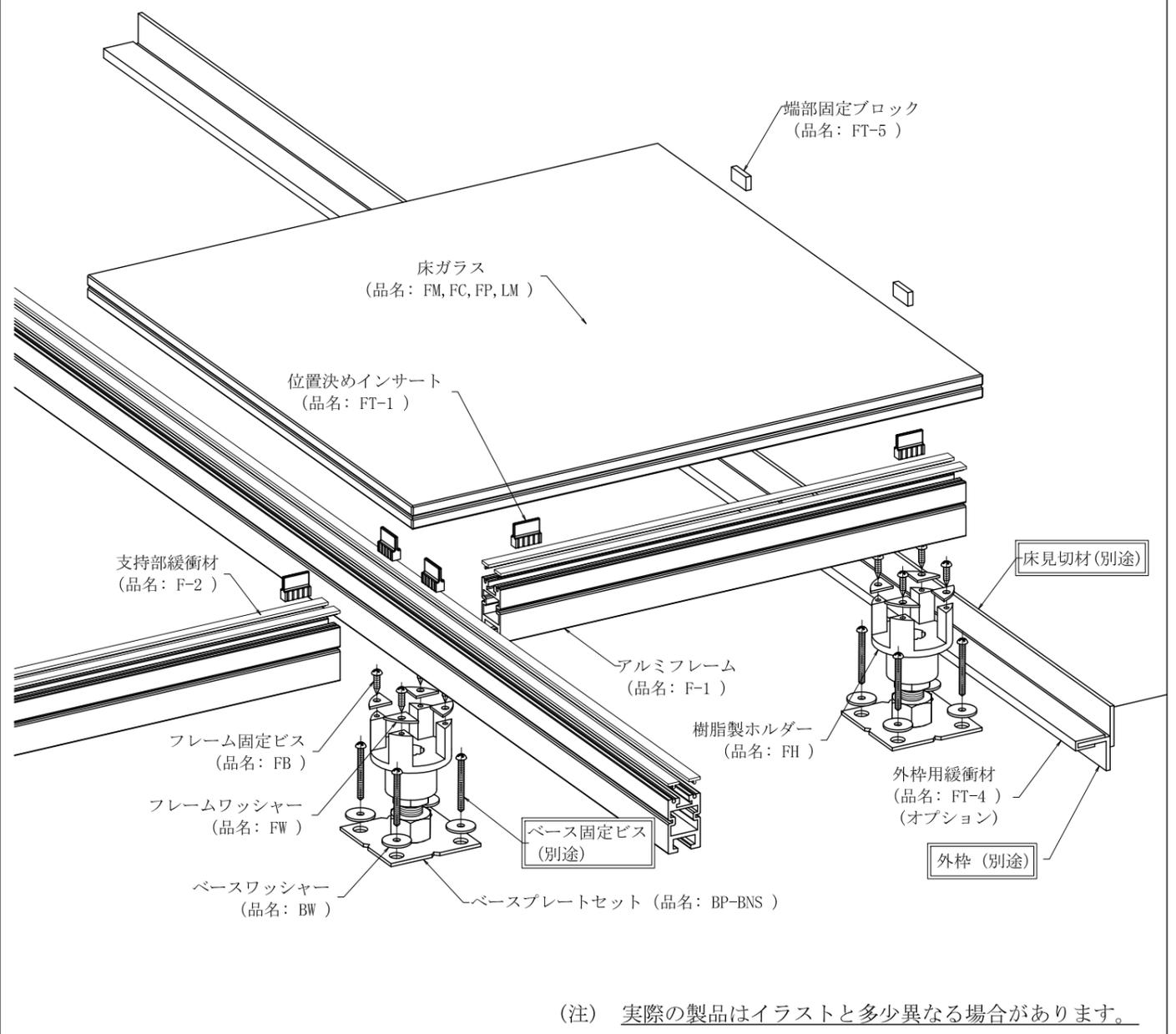
部品名 (呼称)				サイズ		材質、構成				
一般フロートガラス		高透過ガラス		W×L						
ホワイト不透明タイプ	FM-6060	透明タイプ	FC-6060	セラミック半透明タイプ	FP-6060	ホワイト不透明タイプ	LM-6060	596	596	強化合わせガラス (板厚 約17.5mm) 滑り止め加工付き
	FM-6030		FC-6030		FP-6030		LM-6030	596	296	
	FM-4545		FC-4545		FP-4545		LM-4545	446	446	
FH		樹脂製ホルダー		ナイロン成型品						
BP-BNS		ベースプレートセット		St ユニクロメッキ						
BW		ベースワッシャー		St ユニクロメッキ						
FW		フレームワッシャー		St ユニクロメッキ						
FB		フレーム固定ビス		St ユニクロメッキ						
F-1		アルミフレーム (4m/本)		A6063S-T5(アルマイトシルバー)						
F-2		支持部緩衝材		EPDMゴム(ライトグレー)						
FT-1		位置決めインサート		ポリカーボネート成型品						
FT-4 (オプション)		外枠用緩衝材 (5m/本)		EPDMゴム(ライトグレー)						
FT-5		端部固定ブロック		EPDMゴム(ライトグレー)						



1-2 お客様にご用意して頂く物 (梱包内容には含まれておりません。)

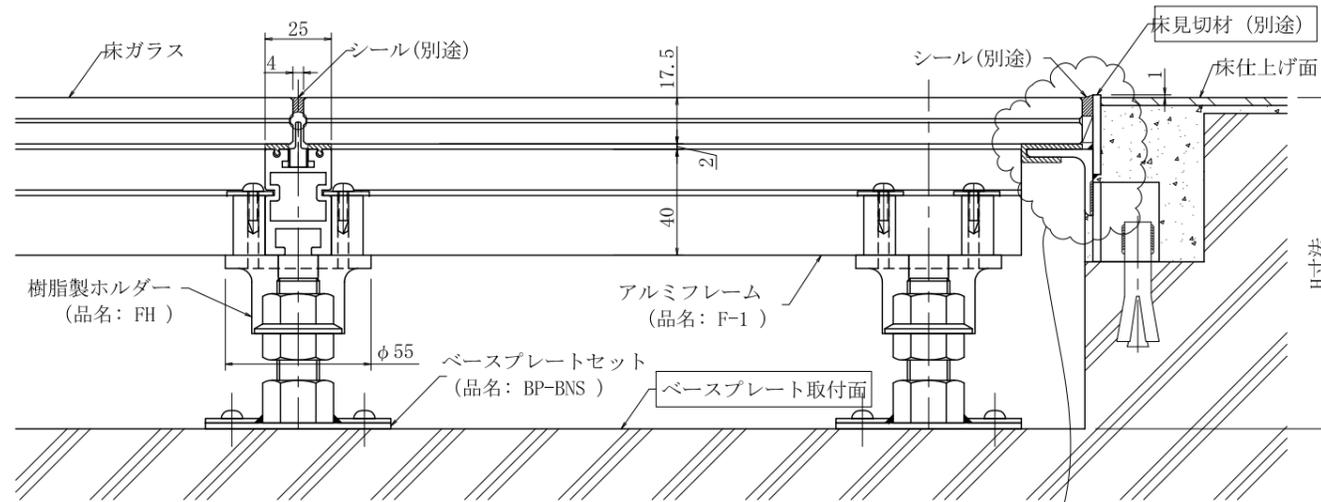
- ベース固定ビス (別途)
 - 木下地の場合: St or SUS なベネネジ 呼び径 4.1-L25程度
 - 鉄骨下地の場合: St or SUS タッピングねじ(ドリルねじ)等 M4程度
 - RC造、ALC造の場合: フィッシャープラグ等をご使用頂き、プラグ専用のビスをご用意下さい。
 - (必要本数 = ご購入されたベースプレートセット数 × 4本)
- ベース固定ビス (別途)
- フィッシャープラグ (別途)
- 床見切材及び外枠 ※2-1~2-4 ベースプレート取付面と外枠の製作及び、3-1 ベースプレート固定位置の墨出しを参照して下さい。
- ライナー等 (ベースプレート設置の際に傾きができる場合) ※4-3ベースプレートの傾き調整を参照して下さい。
- 端部固定ブロック (端部の目地幅が4mmを超える場合はお客様にてご用意下さい。) ※8-1床ガラスの設置を参照して下さい。
- シーリング材 (シリコン系のガラス・アルミ用をご用意下さい。)
- 厚み2mmのゴムシート (ご用意された外枠に弊社の緩衝材が合わない場合) ※5-1外枠緩衝材の取付を参照して下さい。
- クリアランスゲージ (※6-1アルミフレーム設置を参照して下さい。)

1-3 組み立て参考図



2-1 ベースプレート取付面の製作

- ・お客様ご購入時に指定されたH寸法にて、ベースプレート取付面を製作して下さい。
(注1)樹脂製ホルダーの不陸調整シロは、±7mmになっています。(4-4 樹脂製ホルダーの高さ調整を参照して下さい。)
H寸法は調整範囲内で製作して下さい。
- (注2)ベースプレート取付面は、倒壊・落下が無い様に充分強度のある平面を製作して下さい。



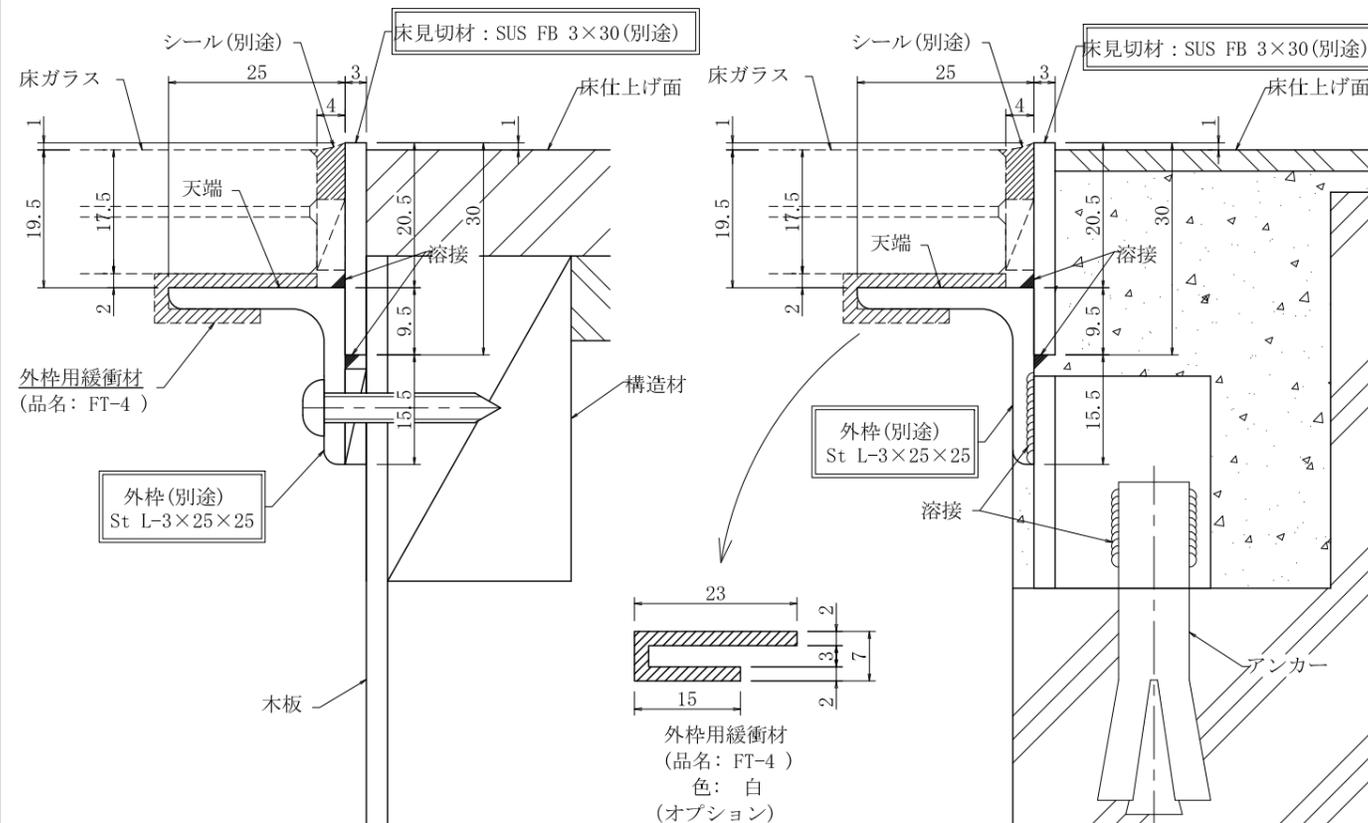
床見切材及び外枠は、お客様にてご用意下さい。

2-2 外枠の参考図

- ・下図を参考にお客さまの環境に適した外枠を製作して下さい。
(注1) 外枠の天端を床仕上げ面から19.5mm下がった位置に合せて、確実に構造体に固定して下さい。寸法公差±1mm以内にしてください。

木造の場合 (参考図)

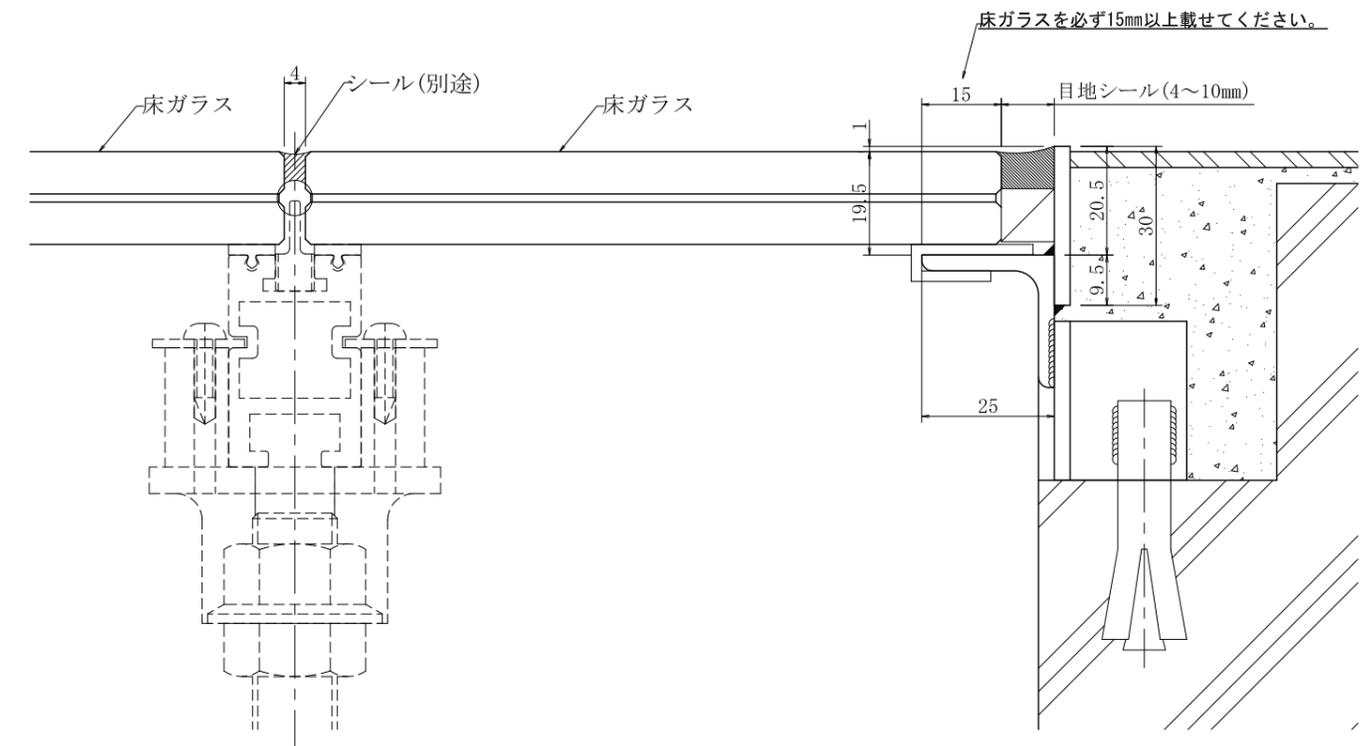
RC造の場合 (参考図)



2-3 目地納まりについて

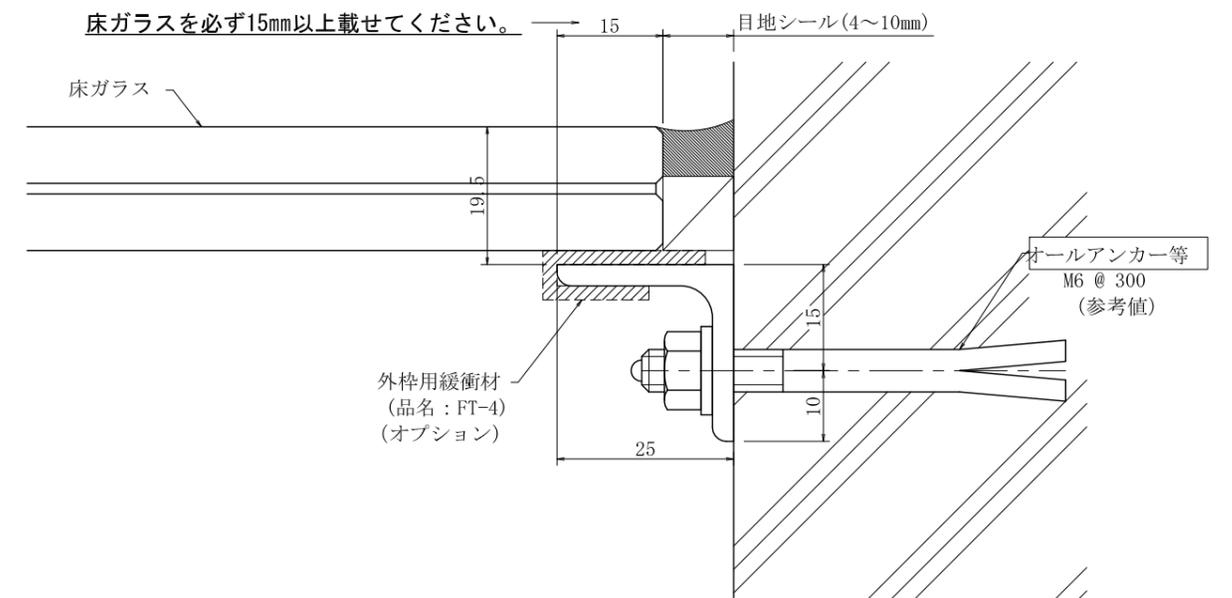
- ・ガラス同士の目地部は、目地幅が4mmになります。
- ・端部目地幅は、4~10mmの範囲で外枠を設置して下さい。

シーリング材はお客様にて、ご用意下さい。



2-4 壁納まりについて

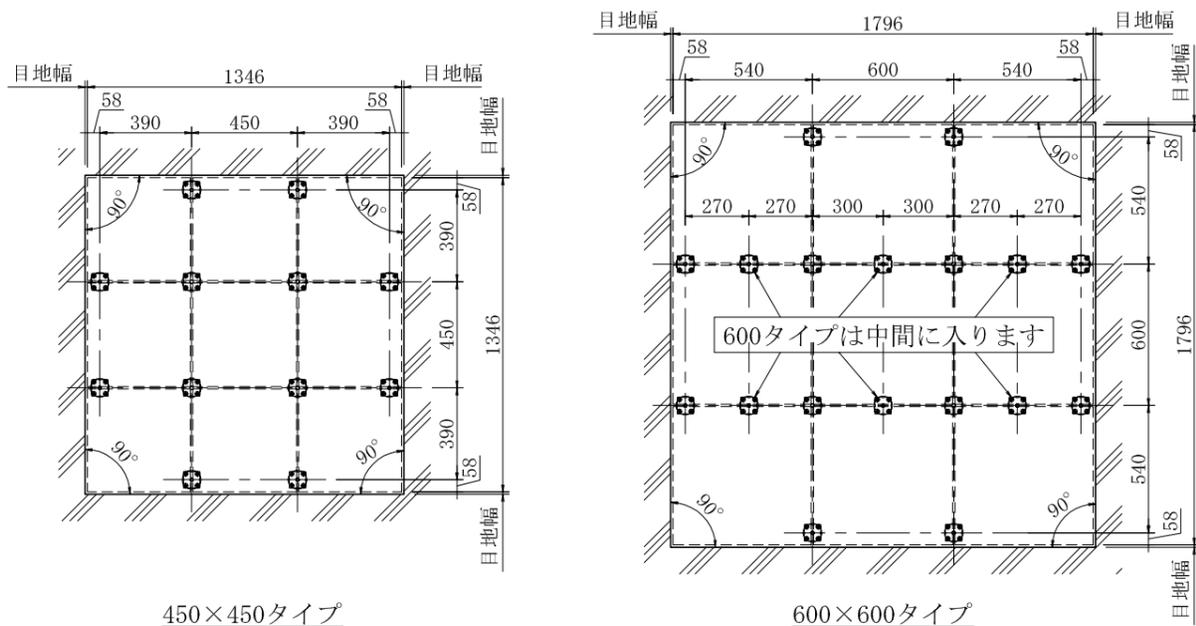
- ・端部目地幅は、4~10mmの範囲で外枠を設置して下さい。



※施工者チェックリスト【1. ベースプレート取付面と外枠の製作】を必ずチェックしてから次にお進み下さい。

3-1 各タイプのベース芯寸法 (例: 床ガラスが9枚の場合)

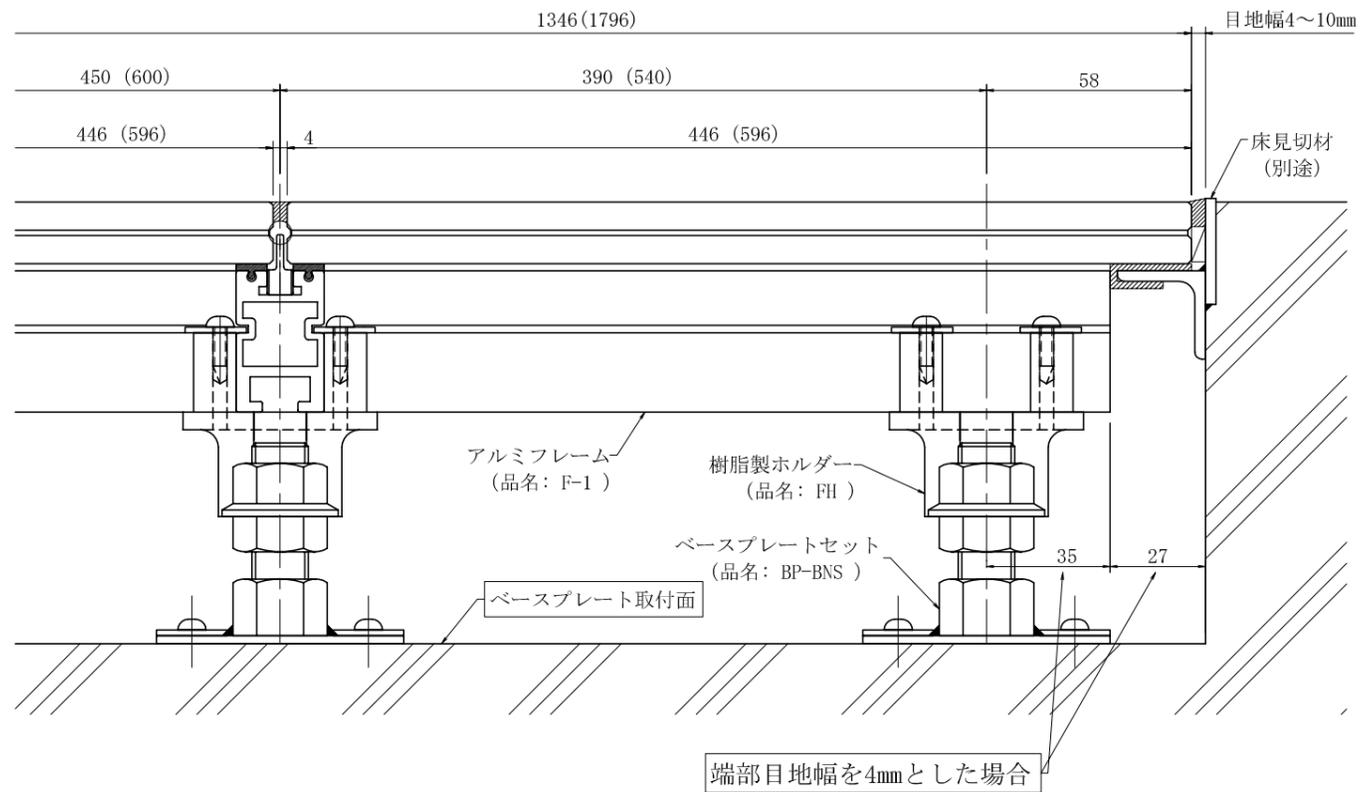
・ご購入頂いたタイプの寸法図を参照して、ベース芯を墨出しして下さい。



450×450タイプ

600×600タイプ

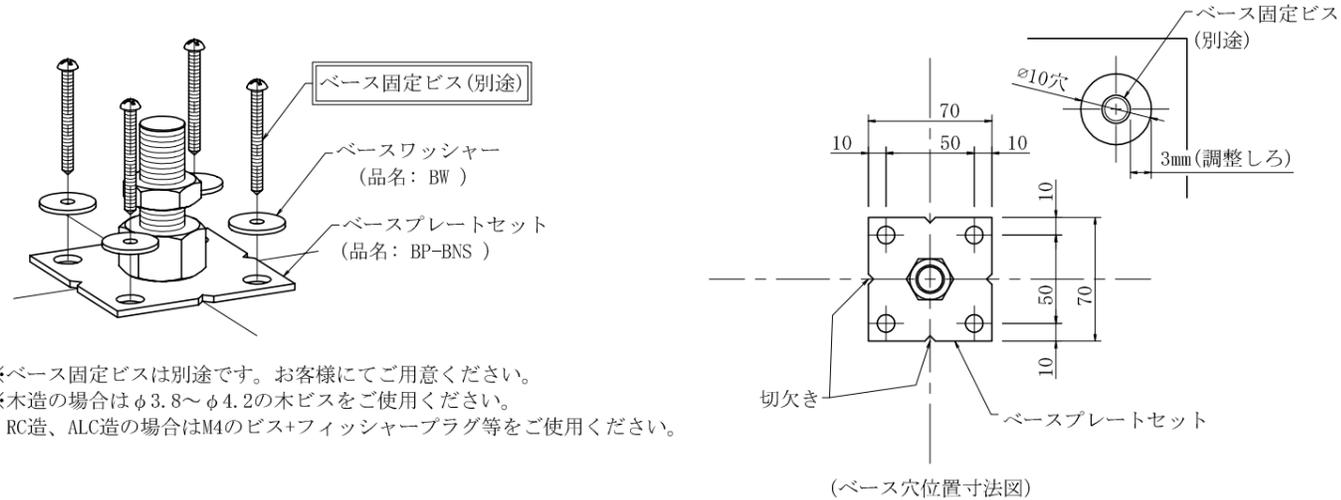
(注1) 下記寸法の () 内寸法は、600タイプです。



※施工者チェックリスト【2. ベースプレート固定位置の墨出し】を必ずチェックしてから次にお進み下さい。

4-1 ベースプレートの仮止め

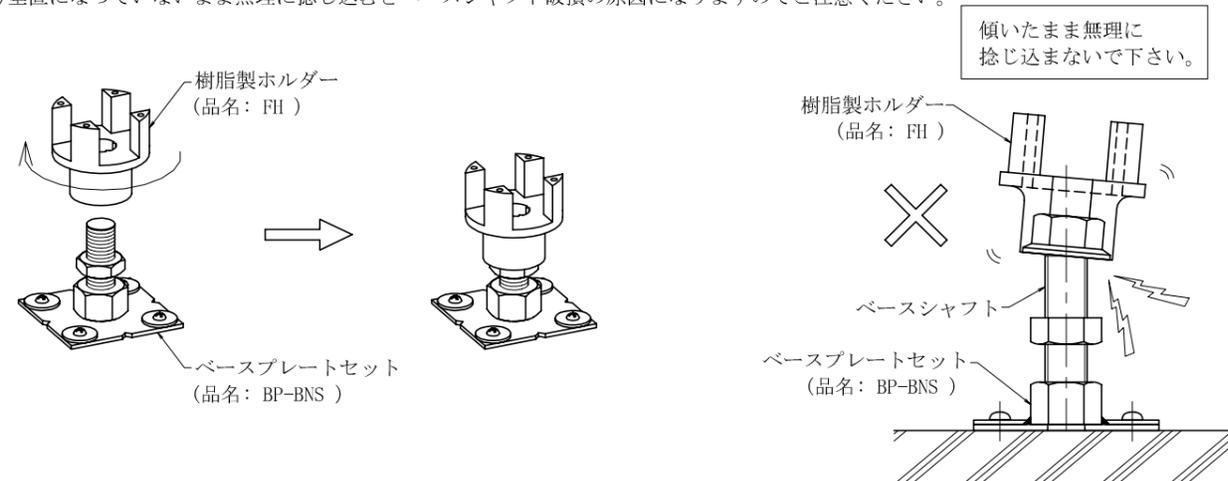
・ベース芯にベースプレートの切欠きを合せて位置を決め、ベース固定ビス(構造に合った物をご用意ください)で仮止めします。
(ベース固定ビス (別途)の本数はベースプレート1ヶ所に4本必要になります。)
(注1)ベースプレートの取付穴はルーズ穴ですので、付属のベースワッシャーをご使用ください。 ルーズ穴には片側3mmの調整しろがあります。



※ベース固定ビスは別途です。お客様にてご用意ください。
※木造の場合はφ3.8~φ4.2の木ビスをご使用ください。
RC造、ALC造の場合はM4のビス+フィッシャープラグ等をご使用ください。

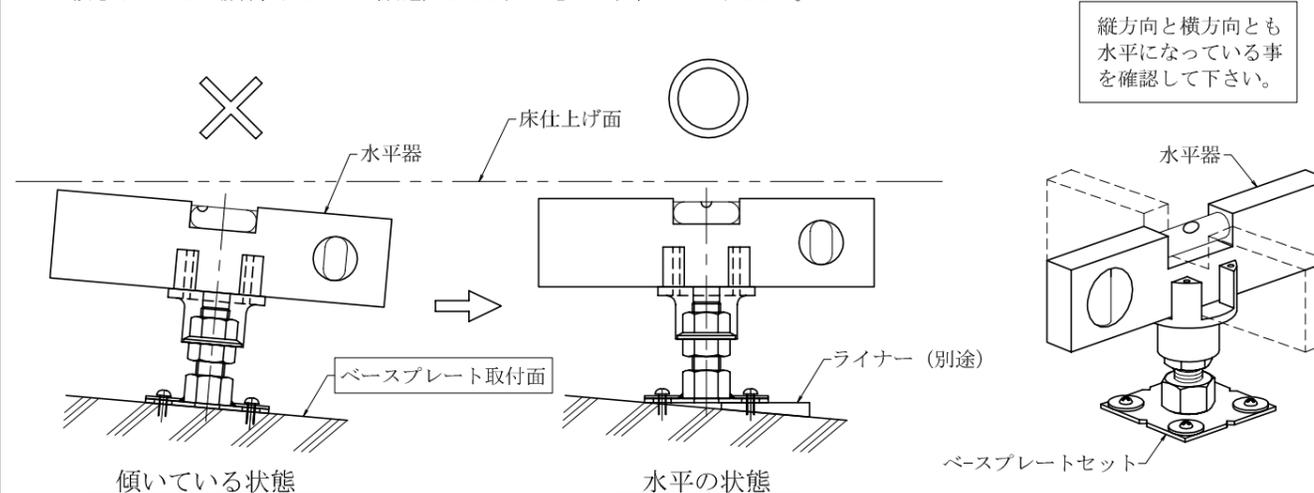
4-2 樹脂製ホルダー取付

・樹脂製ホルダーをベースシャフト (ねじ部) に回しながら垂直に差し込んでください。
(注2) 垂直になっていないまま無理に捻じ込むとベースシャフト破損の原因になりますのでご注意ください。



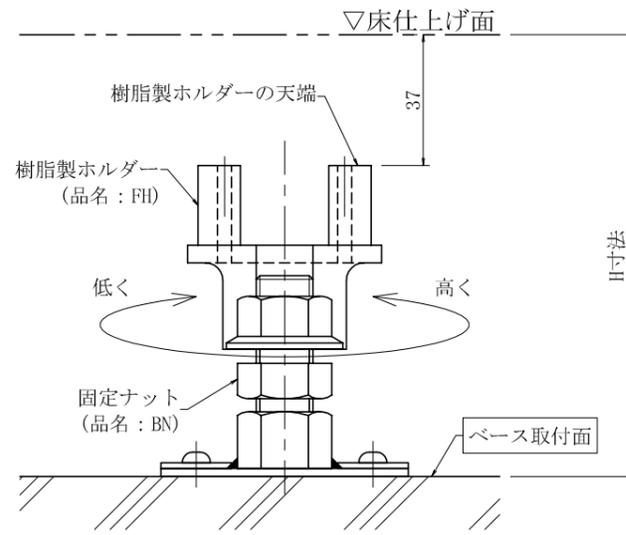
4-3 ベースプレートの傾き調整

・水平器を使用して傾きが無い事を確認後、ベースプレートを確実に固定してください。
傾きなどがある場合、ライナー (別途) などを差し込んで水平にしてください。



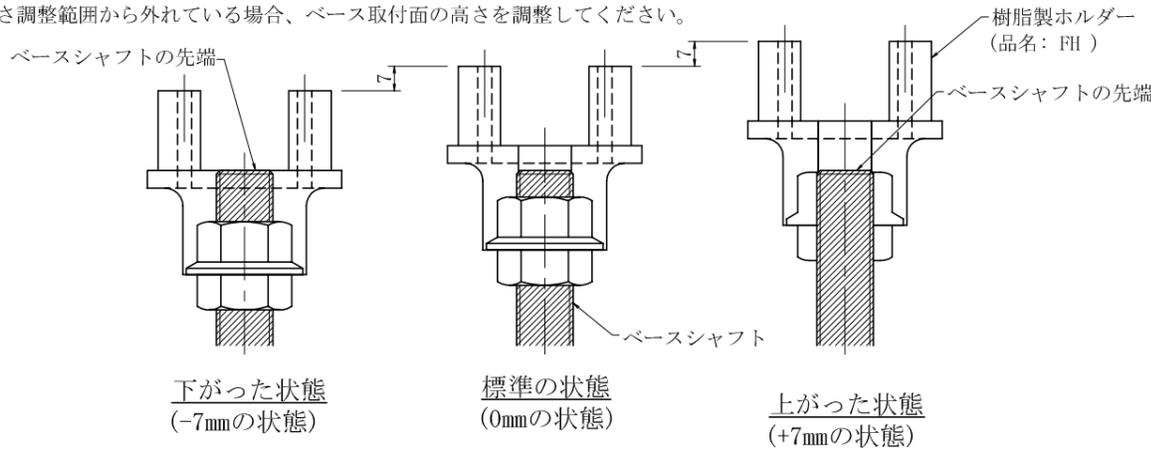
4-4 樹脂製ホルダーの高さ調整

・樹脂製ホルダーの天端は床仕上面から37mm になります。
樹脂製ホルダーを回して、37mm 丁度になる様に調整してください。
(樹脂製ホルダーを1/4回転させると0.5mm ずつ調整できます。)
(右に回すと低くなり、左に回すと高くなります。)



・樹脂製ホルダーは ±7mm の高さ調整が可能です。

・高さ調整範囲から外れている場合、ベース取付面の高さを調整してください。



±7mm の調整範囲

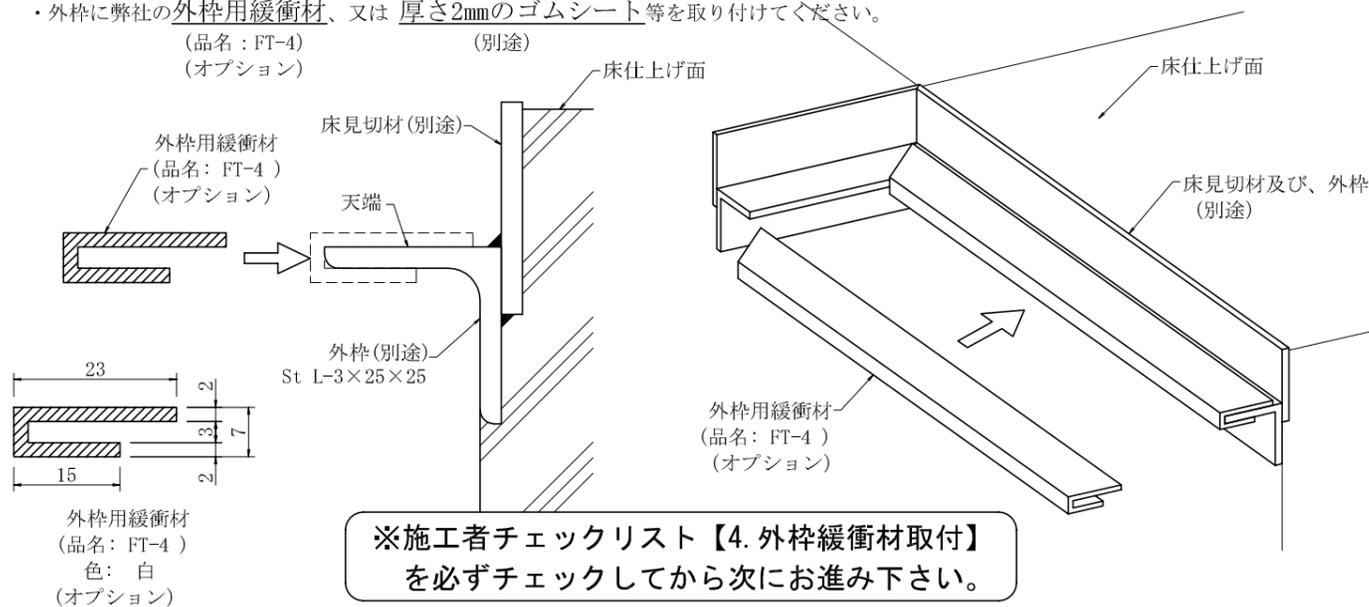
この範囲内にて調整をお願い致します。

※施工者チェックリスト【3. ベースプレートの固定】
を必ずチェックしてから次にお進み下さい。

5 外枠用緩衝材の取付

5-1 外枠用緩衝材の取付

・外枠に弊社の外枠用緩衝材、又は厚さ2mm のゴムシート等を取り付けてください。
(品名: FT-4) (別途)

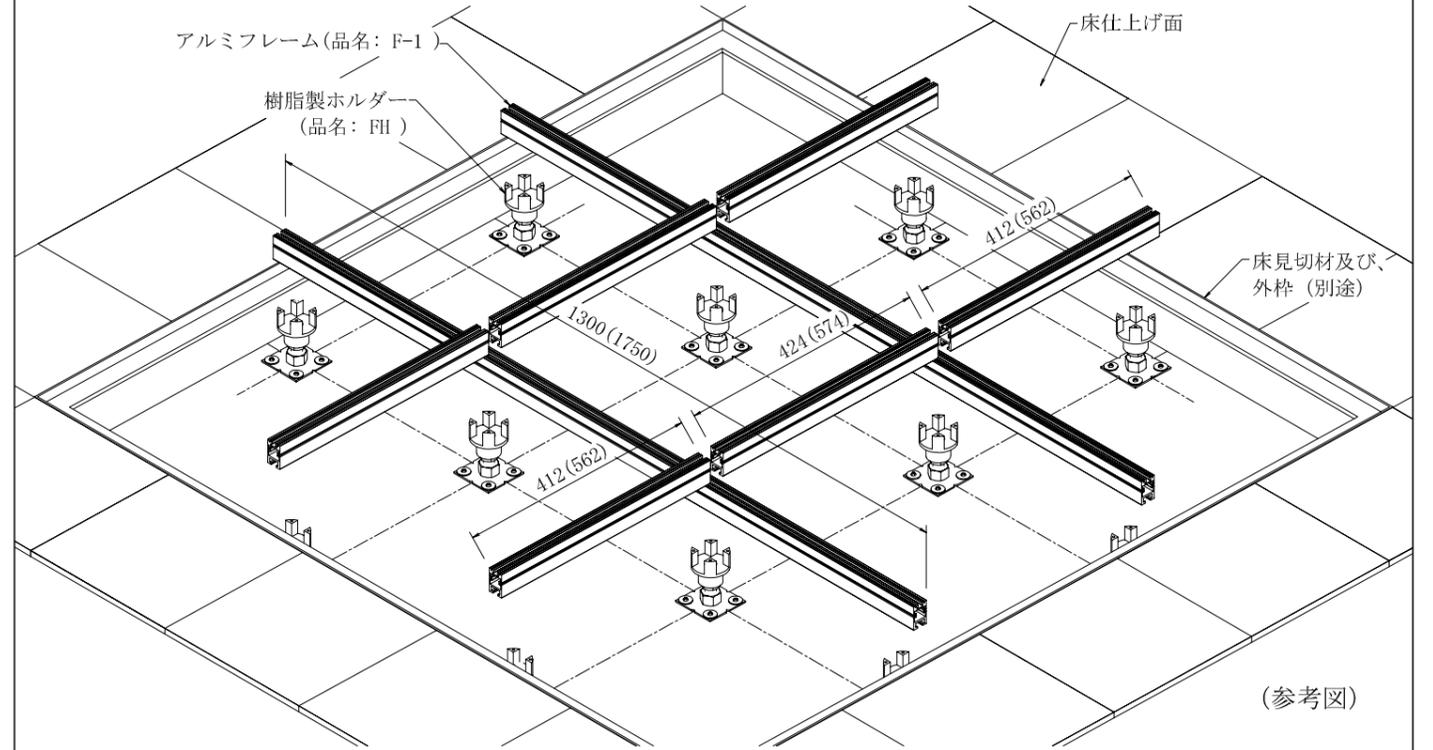


※施工者チェックリスト【4. 外枠緩衝材取付】
を必ずチェックしてから次にお進み下さい。

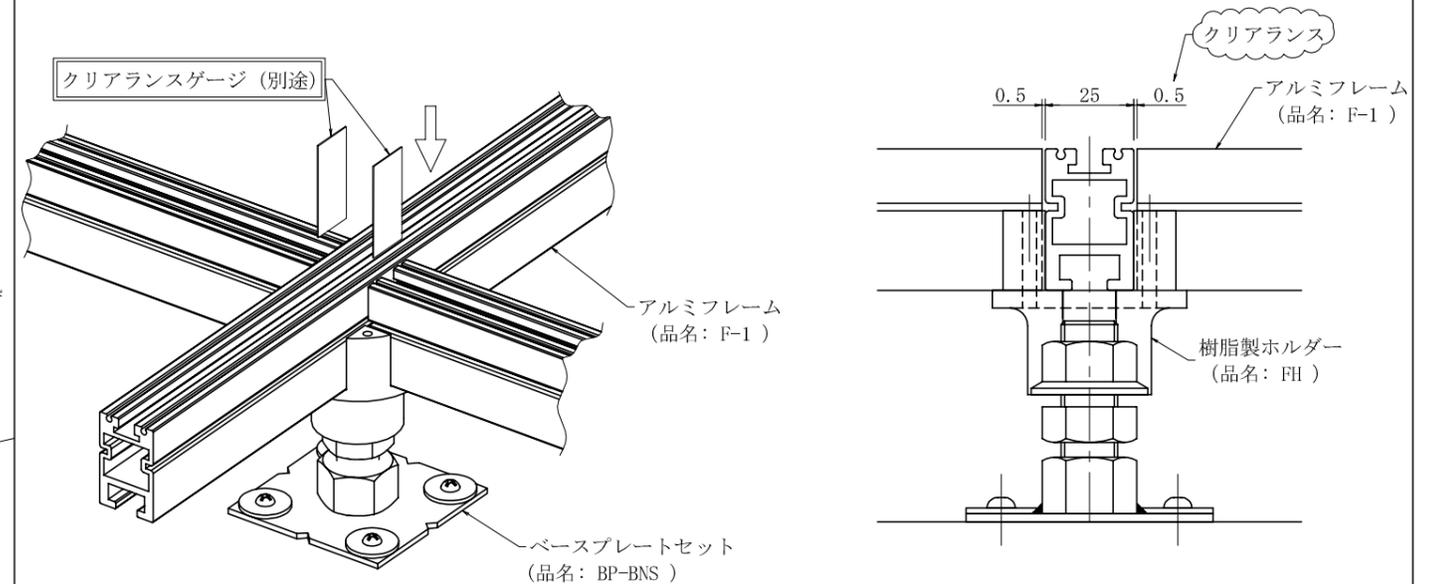
6 アルミフレームの設置

6-1 アルミフレームの設置 (例: 床ガラスが9枚、端部目地4mm の場合)

・ご注文頂いたタイプに合わせてアルミフレームを切断し、樹脂製ホルダーに確実に載せてください。
(注1) 下記寸法は 450タイプ (600タイプ) になっています。

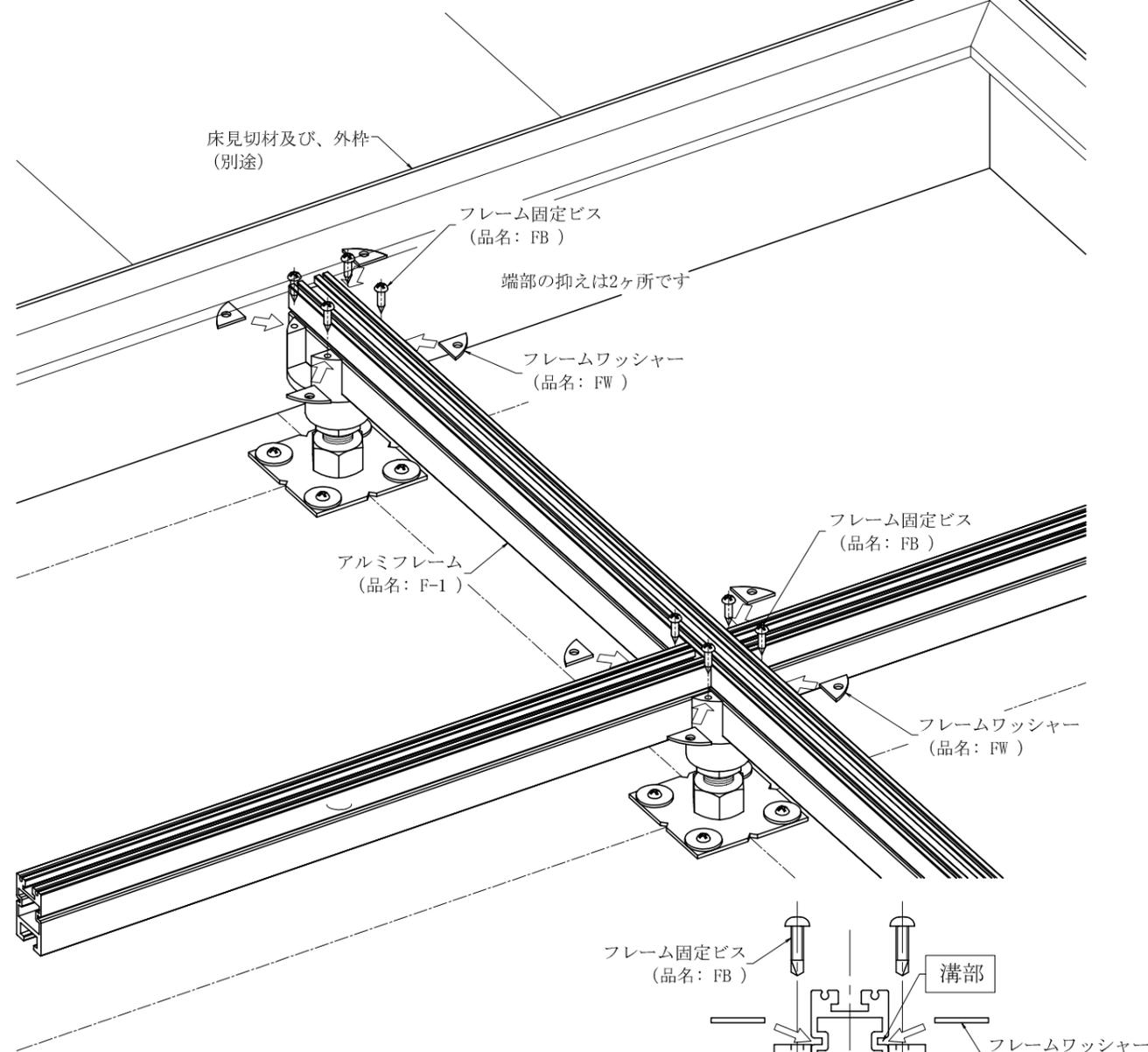


(注2) 上記のアルミフレームの寸法は、片側0.5mm のクリアランスを考慮した寸法値です。
・アルミフレームのメタルタッチ防止に、0.3~0.5mm 程度のクリアランスゲージ等を使用してクリアランスを保ってください。
(参考: はがきの厚みは0.3mm です。)



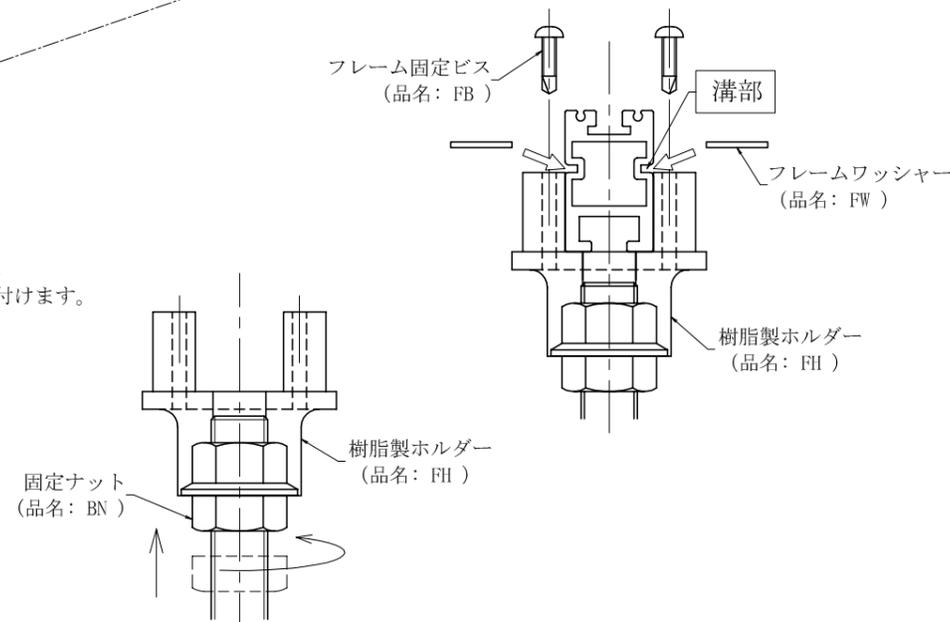
6-2 アルミフレームの固定

・アルミフレームの溝部にフレームワッシャーを差込み、フレーム固定ビスで締め付けます。
 (注3) フレーム固定ビスを締める際に、無理に力を加えると樹脂製ホルダーの破損の原因になりますのでご注意ください。
 (注4) 固定後、全てのアルミフレームにガタツキ及び、段差が無い事を確認してください。



6-3 固定ナット締め付け

・アルミフレームの設置が終わりましたら、樹脂製ホルダー固定の為固定ナットで締め付けます。

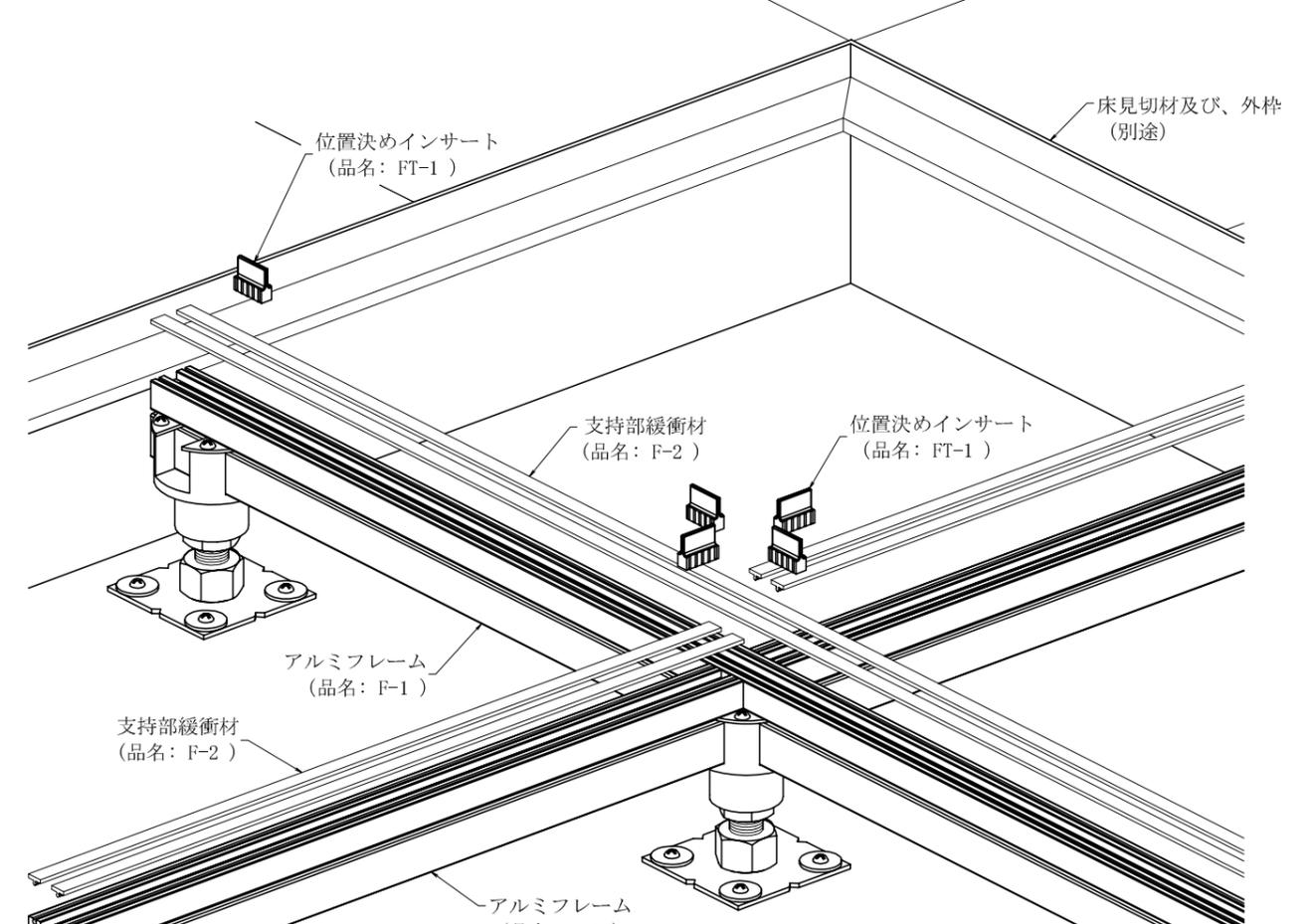


※施工者チェックリスト【5. アルミフレームの設置】を必ずチェックしてから次にお進み下さい。

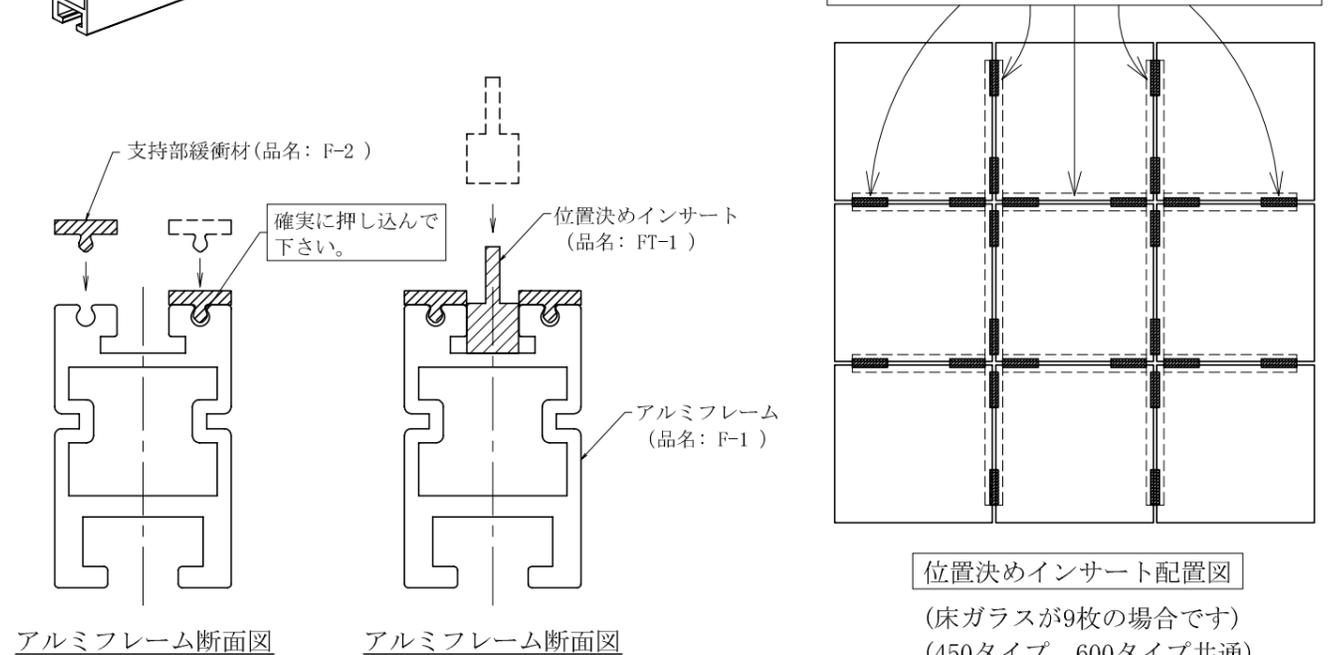
7 緩衝材及び、インサートの設置

7-1 支持部緩衝材取付及び、位置決めインサートの設置

・支持部緩衝材をアルミフレームに合わせて切断し、アルミフレームに押し込んで下さい。
 (注1) 支持部緩衝材はアルミフレームより短くならない様にしてください。
 ・下記図の様に床ガラスの目地に位置決めインサートをセットします。



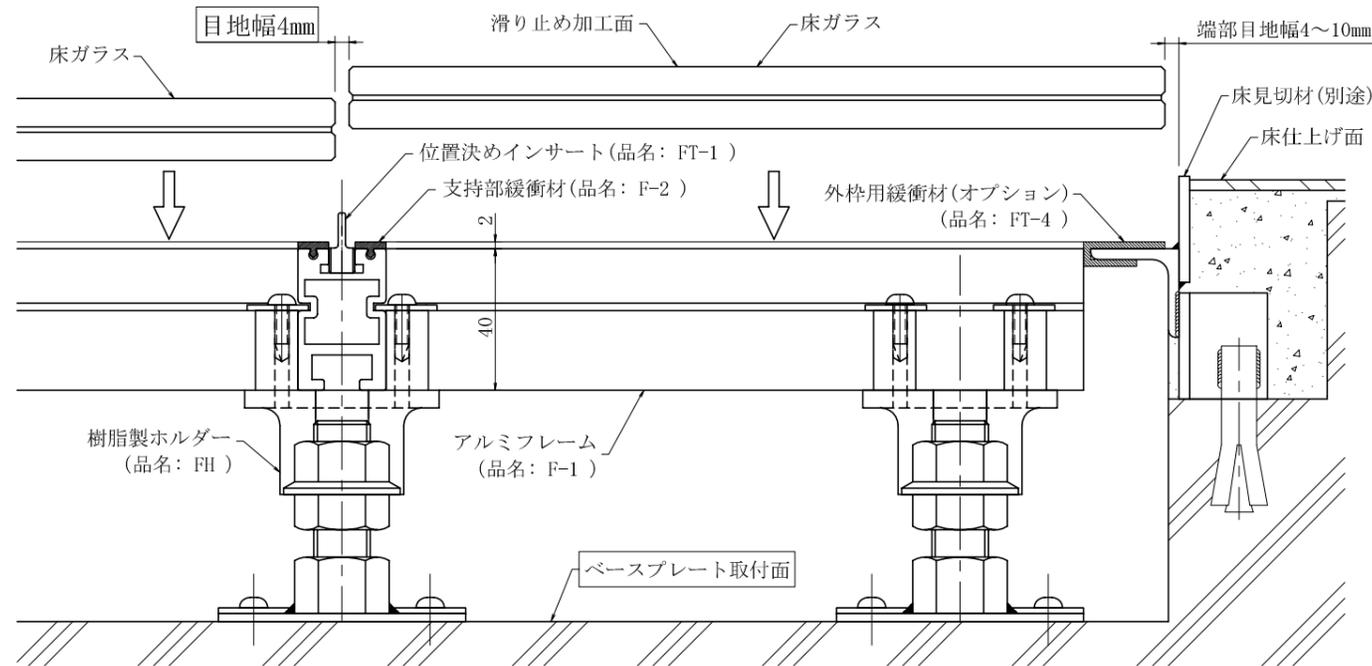
下記図を参考にインサートを設置して下さい。



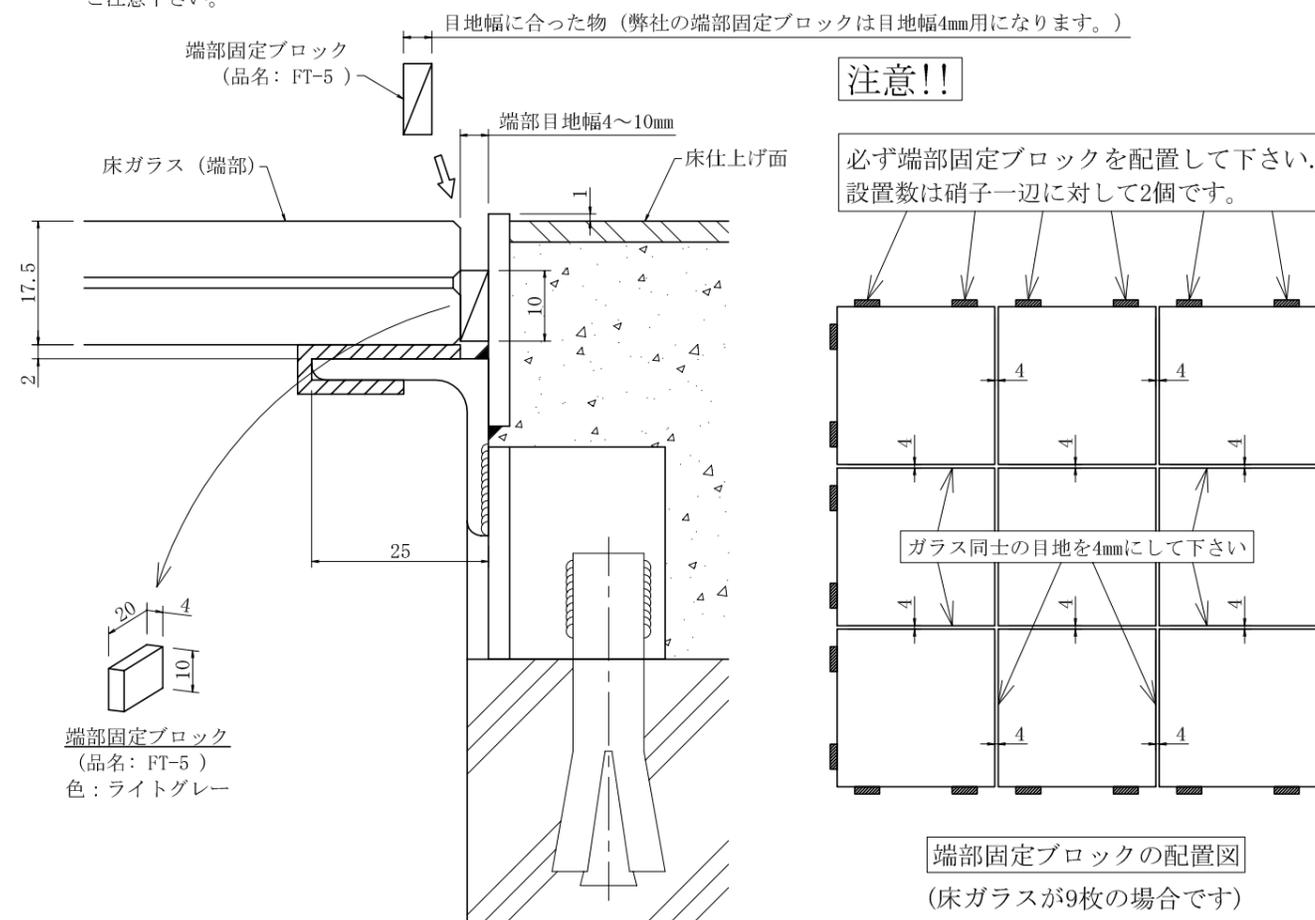
※施工者チェックリスト【6. 緩衝材及びインサートの設置】を必ずチェックしてから次にお進み下さい。

8-1 床ガラスの設置

- ・位置決めインサートをガイドにして床ガラスを載せて下さい。その際、ガラス同士の目地は4mmになる様に調整して下さい。
※(床ガラスの滑り止め加工面が床仕上げ面になります。)
- ・端部目地寸法は、外枠製作時の目地幅にて調整して下さい。
- (注1)床ガラスを載せる際に、無理に力を加えると破損の原因になりますのでご注意ください。



- 注 床ガラスと床見切材との目地に端部固定ブロックを設置してください。設置数は1辺に対して2ヶ所入れて下さい。弊社の端部固定ブロックは目地幅4mm用になります。お客様がご用意される場合は、ゴム質系の材料で硬度80程度、L=20mm程度の物をご用意下さい。目地用シーリング材とご用意されたゴム材との相性をご確認下さい。相性が悪い場合シーリングが変色する恐れがありますのでご注意ください。



8-2 目地部の仕上げ

- ・目地にバックアップ材を装填してシリコンシール等で適切な施工を行って下さい。
- ※シーリング材はシリコン系のガラス・アルミ用をご使用下さい。
- (注1)酢酸型、アルコール型のシーリング材をご使用の場合、中間膜が変色する可能性があります。ご使用の際は事前に各シーリングメーカーにご確認下さい。